

放送メディア映像学科の新入生で パソコン購入を検討している方へ



- **当学科は個人のパソコン所持を必須にはしていません。**

PCを使用する科目は、PCを設置した実習室で行います。

- **個人のパソコンがある方が圧倒的に有利です。**

課外学習、自主制作、情報収集、また自然災害など休校時にオンライン授業を実施する場合など

- **お勧めのパソコンはありません（個々の製品はわかりません）**

学びの分野やライフスタイルなどによって、さまざまな選択肢がありますので、学科全員に最適なPCはありません。また、多数のメーカーから様々な製品が発表されています。

日々変わる製品群を教員は把握できません。

そこで、パソコン購入を考えている学生に、いくつかの性能上の要点をお知らせしています。基本的な考え方として、性能は高いほど良いですが、満たしてなければ作動しないということではありません。

A. 映像編集、3Dグラフィックス、VFX、VR、Unityなどを勉強したい方

- CPU：Intel Core i7 以上（AMD Ryzen7 以上）
- メモリ：32GB 以上、
- ストレージ：SSD 1TB 以上（外付け SSD or HDD でも対応可）
- グラフィックボードが搭載されている：Nvidia Geforce か AMD Radion
（ノート PC で内臓 GPU：Intel Iris Xe などは非推奨）

B. Web デザイン、プログラミングなどを勉強したい方

- CPU：Intel Core i7 以上（AMD Ryzen7 以上）
- メモリ：16GB 以上、
- ストレージ：SSD 512GB 以上

C. 細かい性能のことは、よくわからない（考えたくない）方



色々なメーカーで出ている「クリエイター向け」パソコンを選びましょう。大体、上記の構成を満たします。購入時のカスタマイズで機能性 UP できる場合もあります。

マウスコンピュータ:DAIV シリーズ、Dell:XPS シリーズ、Apple:MacBookPro など、他メーカーにも色々あります。

Mac でいいのか問題

Apple 社製 PC の Mac シリーズを使いたいという学生が多くいます。当学科で 3D グラフィックスを学びたい学生には推奨していません。 Mac を使用する際のデメリットもあるので、知っておきましょう。

【デメリット①】大学のPCはほぼ全てWindows。異種OS間における操作の違いや、様々なトラブルに対応する知識が無い場合は、避けた方が無難。

【デメリット②】WindowsPCとファイルをやり取りする際に、文字化けする（ファイル名が読めなくなる）場合がある。外付けストレージが読めない場合がある。

【デメリット③】MS Access（データベースのソフト）が入らない。情報系科目で必要になる場合がある。

ノートかデスクトップか問題

好みの問題です。大学でPCを扱う授業はゼミなどを除き、PCを設置している実習室で行います。自分のライフスタイルや生活環境に合わせて選びましょう。一般的な形態別の特徴をあげておきます。

	モバイルノート PC	大型ノート PC	デスクトップ PC
持ち運び	1Kg 前後で、日常的に持ち歩き容易。	2Kg 以上で重いですが、持ち出すことはできる。電源アダプタが大きい。	移動できない。場所をとる。ポータブル HDD など、データだけを持ち歩くなどで対応できる。
画面	10～14 インチが多く画面が小さい	15～17 インチと画面が大きく操作しやすい	画面が大きいため作業効率は良い。デュアルディスプレイにできるなど、拡張性もある。
同じ性能でのコスパ	低い、高性能にすると特にコスパは下がる	中間	高い 一般的に同性能のノート PC より安価
拡張性	低い、バッテリーの時間が比較的短い 外付け SSD など、記録容量を増やすことは可能	低い	高い メモリ増設や、グラフィックボードの交換が可能なものが多い

パソコンはただの箱です アプリ（ソフトウェア）が必要です！

実習で使用しているアプリをインストールしないと、同じ環境で制作や学習ができません。MS Office、Blender、Unity、Pythonなどは、無償で使用できます。（アカウント登録やインストールは各個必要。）

映像系やデザイン制作などで使用する **Adobe 社各種ソフトはサブスクリプション制の有料です。**

※大学で購入すると格安で購入できます。（4月に年に1回の購入申し込み。）

パソコン購入と同時に揃える必要はありませんので、検討してみてください。具体的な相談はゼミ担当などの先生に相談してみてください。

以上